

学校教育目標 目指す子どもの姿「元気いっぱい やさしいいっぱい 何でもチャレンジ 南っ子！」 ～「ふるさと本牧」を担う子どもの育成～ 【知】「もっと〇〇したい」と意欲をもち、本気で学ぶ子 【徳】自分も友だちも大切にできる、やさしいいっぱいの子 【体】元気に満ちあふれ、心身ともに健康でたくましい子 【公】地域を大切にし、「ふるさと本牧」そして横浜を愛する子 【開】多様な「人・もの・こと」と積極的にかかわる、グローバルな子	創立 57 周年 学校長 川又 美貴子 副校長 関谷 康之 2 学期制 一般学級：9 個別支援学級：5
	児童生徒数： 234 人 主な関係校： 大鳥中学校・本牧中学校・間門小学校・本牧小学校・大鳥小学校

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈自分づくりに関する力〉 〈心身ともにたくましく生きる力〉 〈グローバル化の中で生きる力〉	大鳥中学校 本牧中学校 間門小学校 本牧小学校 大鳥小学校 本牧南小学校	「ふるさと本牧」を担う子どもの育成 ～子ども・家庭・地域・教職員の連携の充実を通して～ ○本牧のまちと関わりながら学び、まちを大切にできる子ども ○多様性を尊重し、豊かなコミュニケーション力をもつ子ども ○学習や生活のよい習慣を身に付け、確実に自分の力を伸ばそうと努力する子ども ■2中4小合同 学校運営協議会の実施 ■2中4小合同 授業研究会の実施 ■各校による「あいさつ運動」の実施 ■各校による社会的スキル育成（Y-Pアセスメント）活用 ■2中4小で「いじめ」についての認識及び対応の共有化

中期取組目標	〈南の風はあたたかい〉～子どもたちが安全で安心できる、あたたかい本牧南小学校～ ○学習習慣の土台を大切にしなが、主体的・対話的で深い学びを通して子ども主体の学びを実現し、「もっと〇〇したい」と本気になって学ぶ子を育てます。 ○だれもが安心して豊かに過ごすことのできる、集団としてのルールやマナーを大切にし、いつでもどこでも誰とでも互いを尊重しあえるやさしい心を育みます。 ○基本的な生活習慣を定着させるとともに健康教育や食育の充実を図り、健やかな体づくりに主体的に取り組む子を育てます。 ○持続可能な社会の実現を目指し、地域の歴史や伝統を学ぶとともに地域の方々と交流を深め、「ふるさと本牧」を愛する子を育てます。 ○全教職員が組織として支えあい、一人ひとりのよさを生かすことで、心身ともに健康で、安心して働くことのできる職場風土の醸成を図ります。
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
知 確かな学力	①40分授業でテンポの良い授業を行うことで子ども達の意欲・集中力を高める。 ②日々の授業において、必要感のある課題設定やペアグループ学習での対話的な学びを行うことで『もっと〇〇したい』と本気で学ぶ子の育成を図る。 ③算数少人数指導の充実、本牧南独自の漢字検定の実施、ICTの効果的な活用及び授業力の向上に努め、子どもたちの学習意欲を高めるとともに、学力の定着を図る。
担当 「知」部会/GIGA・DX	
徳 人権教育	①人権尊重を意識し、児童の思いを大切に「まんまる学級目標」を設定、「シトリプロジェクト」の推進、日常的に意識できるようにする。 ②年に2回人権週間を設定し、個別支援学級への理解や6年生のよいところ紹介をきっかけに多様性について理解を促す。 ③ペア活動として、新体力テストや交歓給食、全校外遊びなどを行い、異学年の友達との触れ合いを大切にする。 ④横浜子ども会議を受けての実践を取り入れ、いじめ防止について児童が主体的かつ積極的に参加できるようにする。
担当 「徳」部会	
体 健康教育	①体育科の授業の充実、「南っ子健康アップ大作戦」等の取組を通して、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基盤を育むとともに、体力の向上・けがの防止に繋げていく。 ②年間計画に基づいた歯科指導をベースにして、全校参加の学校保健委員会や日々の保健指導などを通して、基本的な生活習慣の定着を図る。 ③給食に本牧産の食材を使用したり、児童が食材の下処理をしったりすることを通して、食育の充実を図り、「食事の重要性」「伝統的な食文化」「心身の健康」について実感を持った理解に繋げる。
担当 「体」部会/体育部	
公開 多文化共生	①ソフト・ハードの両面から国際教室の環境を整え、指導の充実を図る。 ②国際教室での取り出し学習、入り込み指導等、日本語指導を充実させ、学習に自信をもてるようにする。
担当 国際教室/教務部	
いじめへの対応	①チーム学年経営を推進し、複数の目で見ることによって小さな変化を見逃さない体制を整える。 ②年2回児童へアンケートを実施したり、月1回いじめ防止対策委員会を開いたりすることで、認知された案件の経過観察を丁寧に行い、再発防止に努める。 ③年1回以上の児童面談や児童情報をデータベース化することにより、いじめの未然防止・早期発見・積極的認知を行う。
担当 「徳」部会/専任・副専任	
児童指導・支援	①児童が自ら考え行動できるように、「学校生活のきまり」をもとに全職員で共通理解を図り、同じスタンスで指導・支援を行う。 ②生活目標について各クラスの実態に合わせて目標を立て、振り返りを行うことで意識の定着を図る。 ③年2回YPカンファレンスを行い、児童の実態に合わせた横浜プログラムを実施することで、年齢相応の社会的スキルを身に付けるための支援を行う。
担当 「徳」部会/専任	
特別支援教育	①算数の小人数指導や国際教室を始め、様々な学びの場を整え、児童に合った学習環境を提供する。 ②個別の教育支援計画や個別の指導計画を、合理的配慮などの合意形成を図りながら作成・活用し、連続した支援を行う。 ③UDの視点から、授業で使用する掲示物や机上の置き方などを統一して指導することで、見通しをもちやすくする。 ④個別支援学級と一般学級の連携を深め、日頃から交流時の様子を情報交換して、児童が安心して学習できる支援や環境づくりを推進する。
担当 特別支援教育委員会	
人材育成・組織運営(動き方)	①職員間のコミュニケーションを円滑にし、一人ひとりのよさを生かしながら、安心して働ける風通しのよい職場環境を整える。 ②全学年に専科の時間を確保するとともに、職員室業務アシスタントの活用や業務改善を行い、よりよい動き方を目指す。 ③生成AIを活用し、文書作成や校務処理の効率化・標準化を進めることで、教職員の業務負担の軽減を図る。
担当 教務部	
防災・安全 地域連携	①全校参加型の地域防災拠点訓練の実施、交通安全教室・各種訓練に参加する中で、自助・共助の意識を高める。 ②地域防災拠点訓練に保護者の参観を促し、保護者・地域とともに、避難の仕方・約束事等、様々な災害時における適切な行動を身に付ける。
担当 「体」部会	
ESD/SDGs	①重点研究(生活総合の時間)を軸にESDを推進し、地域(ふるさと本牧)の「人・もの・こと」と積極的に関わる。 ②地産地消を軸とした学校独自献立を通して、地元の食材や食文化への関心を高め、食べることを通じて地域・社会・環境を関連付けて考える力を育てる。
担当 重点研推進委員会	